



本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます

春は桜 ふじやま公園のお花見

地域の皆さんが楽しみにしているふじやま公園花見会が4月8日(日)に開催されます(10時～13時 雨天中止)。昨年は、日本に甚大な被害をもたらした東日本大震災直後ということから中止にしましたので、今年は2年ぶりの開催となります。

お花見会の主役は何と言っても桜ですが、公園内には、濃い紅色の花で春の訪れとともに一番先に開花するカンヒザクラ、白い花が美しく葉が大きいオオシマザクラ、花より葉が先に出るヤマザクラなどあちこちにたくさんの桜が植えられています。元大橋側の正門では見事なシダレザクラが皆さんを迎えてくれます。

花見を盛り上げる催しとして、地域の人々によって受け継がれてきた和太鼓、殺陣、獅子舞、安来節などが披露されます。



またお花見といえば、ござを敷いて飲んだり食べたりするのも楽しみの一つですが、園内では甘酒や五平餅、ジャガバターなども用意して皆さんのおいでをお待ちしています。うららかな春の日のもとで家族と過ごした一日のことがいつまでも子どもたちの心の中に残り、そんなことの積み重ねが家族の結びつきを強め、郷土への愛着を育てていくことにつながって欲しいものです。

今年は春の到来が遅い。それでも、吹いてきた寒風から逃れるように梅林の斜面地に体を横たえていると、晩春の太陽の暖かさに身も心もすっかりほぐれ、うつらうつらと今にも御伽草子の世界に吸い込まれてしまいそうになる。

そのうちクシャンという大きな音で現実の世界に引き戻され、周りを見渡してみると、公園の花壇はまだ土がむきだしのままで殺風景な姿だ。そんな土の上に誰が持ってきたのか、犬の形をした石が花たちの生育を見守るように置かれ、その脇では福寿草が黄色い可憐な花をつけている。

福寿草の花言葉は“幸せを招く”だそうだ。未曾有の被害をもたらした大震災から1年が経過し、ともすれば記憶も薄れがちになってしまうが、3月11日の日だけでも震災から得た教訓をしっかりと確認しあい、御伽草子に描かれているような身近にある幸せを逃がさないよう努めていきたいものだ。



開園9周年記念 餅つき大会

2月15日(水)、開園9周年を記念した餅つき大会が、薄曇りで風もない絶好のコンディションのもとで行われました。社会見学に来た子どもたちの“ワン ツー スリー”というなぜか英語の掛け声に、餅をついているおじさんたちもつい気合が入りすぎ、“トゥエンティー”の言葉とともに予定の20回打ち終わる頃には、もう息もきれそうになっていました。その晩は、湿布をしながらお雑煮に舌鼓を打っていたスタッフもいたかもしれません。



古民家での雛飾りと抹茶会

雛飾りは女の子の健やかな成長を祈るお節句。公園では2月7日(火)から3月18日(日)まで陳列され、今年は江戸時代から平成に至るまでの雛人形180体余りが総て飾られました。雛日和の暖かい日、先生に付き添われた元気な小学1年生の団体が来てくれました。まずは雛飾りを見学する作法から始まり和室での正しい座り方、おじぎなどを学んで、一斉に立ち上がる姿は見事でした。また、“横浜の人形の家ではなく古民家で見ると雛人形だから是非見たい”という隠れファンも訪れてくれました。3月4日(日)は抹茶会も開かれ園内でのほのかな花の香り、古民家ではお雛様を愛でながらたくさんの方々には抹茶を楽しんでいただきました。



庭木の剪定を行いました

皆さんお気づきですか、古民家ゾーンとその周辺の庭木・樹木の枝ぶりがすっきりしたことを? これは冬になって葉が落ちて枝だけになったためではありません。開園以来初めての剪定を行ったためです。この結果長屋門前の梅、花壇横の柿、工作棟裏のなつめ、日本庭園のいくつかの樹木などがすっきりしました。枝の剪定により通風が良くなり、病害虫の発生が抑制され、開花や結実が促進されます。四季折々の木々の様子が楽しみです。さらにうれしいことには、元大橋口からふじやま頂上への園路とけやき広場から富士山がよく見えになりました。



内蔵の宝 火熨斗(ひのし)

火熨斗は今でいうアイロンのことで、丸い器の中に炭を入れて使います。昔私たちは日常的に裁縫をしていました。繕いものはもちろんのこと、大人



の着物を子ども用に手直ししたり、古くなった着物を雑巾にしたりしました。また、一着の着物を冬には綿を入れたり、夏には裕(あわせ)の裏地を外して単(ひとえ)にしたりと一年中着まわしていました。このため衣類の縫い目を全部解いて洗い張りをしました。

洗濯した布は再び着物の形に縫い直されて、写真のように炭を使う火熨斗を使用して仕上げました。

一般庶民が着物を買うというと古着屋からが多く、布がととても大事にされた壮大なリユースです。



古民家を守る柵門



今年から茅葺屋根の長屋門に似合う柵門が設置されました。

素材は木の温もりを生かした趣きのある物、4連の柵は一本の棒を差し込むことで一体化し、長さは6～7メートルあるのでしょうか。足元にはそれぞれにキャスターが取り付けられて、移動や後片付けがしやすくなっています。古民家全体に

も風格が出て時にはお城の様にもみえます。夕方5時から朝の始まりまで古民家を守り、凜とした存在感を示しています。



『いろり辺雑記』から (原文のまま)

じいじとおとうとと、いろりの火にあたりました。そうしたら火のこがとんできて、びっくりしました。

はじめてきました。昔のオルゴールがあってびっくりしました。よくわからないものがあつたけれどおもしろかった。たたみの部屋はめずらしく、昔の人はいろんなものを使っていたのがわかりました。



ふじやま公園の植物

キブシ(木五倍子) キブシ科

一年のごく短い時期だけ私達の目を引き付ける。高さ2～4m雌雄異株の落葉性低木。2月頃から葉のない枝から数センチひも状の花穂(かすい)を一つずつぶら下げ薄い黄色の花が咲く。早春を代表する木の一つとして人々に親しまれている。春、花穂を見逃すと夏の姿は特徴のない木となりキブシの存在を見逃してしまう。関東地方ではキブジ(黄藤)という名前でよばれ、タンニンを含み、昔は女性が歯を染めるのに用いた。



平成24年4月ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	6日(金)	古民家歴史部会 部会	8日(日)
農芸部会 部会	16日(月)	古文書解読勉強会	1日(日) 22日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	5日(木)
里山部会 作業	14日(土) 21日(土) 22日(日)	囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます
工作棟部会 部会	25日(水)	クリーンアップ	3日(火) 17日(火)
子ども工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	7日(土)
ホームページ制作打合せ	3月25日(日)	印刷	12日(木)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 896-0590)へご連絡下さい。

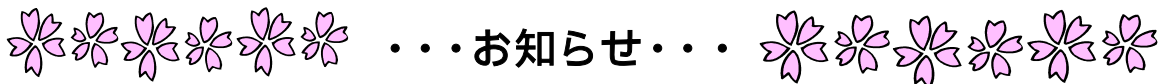
楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください。お待ちしております。

教室名	日時	内容	参加費	応募期限
作って遊ぼう～ 子ども工作の日	4月15日(日)10時～12時 13時～15時	竹トンボを作ります	無料 当日受付	10時～11時 13時～14時
押し花	5月17日(木)13時～16時	5月の花を押し花額にデザイン 18cm×10cm	2,000円	5月13日(日) 10名
布ぞうり作り	5月18日(金)10時～15時	一日で一足完成します	500円	4月30日(月)
5月初心者茶道 体験教室	5月19日(土)13時～16時	男性の方もどうぞ	500円	4月30日(月) 10名
寺子屋 Part-	5月24日(木) 13時～15時30分	論語の抜きよみ(中華思想) 現代に生きる賢人のことば	無料	5月10日(木) 15名
里山のそば打 ち塾	5月26日(土)10時～12時	初心者でも美味しいそばが 打てます 試食 持ち帰りあり	800円	5月12日(土) 6名

(1)持参品：返信はがきで連絡します。(2)定員：12名。応募者多数のときは抽選

(3)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ



花見会

日時：4月8日(日) 10時～13時 雨天中止

芸：和太鼓、殺陣、獅子舞、安来節

販売：五平餅、ジャガバター、みそ汁、甘酒、綿菓子、磯部巻き、竹炭、梅干
その他、ふじやま風茶会、輪投げ、貼り絵があります



竹林整備(筍掘り)

日時：4月14日(土曜日) 10時～12時 雨天15日(日)

申込方法：往復はがき1枚で家族4名参加可、人数を記入する。

応募締切：4月6日(金)募集人数100名(応募者多数の場合は抽選)

2月ふじやま公園来園者数 2,144名

累計 19,039名

・開館時間：9:00～17:00
・入館料：無料
・休館日：4月4日(水)
・クリーンアップ：4月3日(火) 4月17日(火) 10時～11時

ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL: 896-0590 FAX: 896-0593

「ふじやまだより」に対するご意見や感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ